Panasonic®

シンプルセルコン階段灯 Nタイプ
非常用照明器具

施工説明書
取扱説明書
保管用

(一般屋内用)　品番　FS41803　FS41804〔電池内蔵型〕壁付型

・器具の取付には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠警告

●**施工は、取付方法にしたがい確実におこなう。**
施工に不備があると非常点灯せず、正しい避難誘導ができないほか、落下・感電・火災の原因となります。

●**器具を改造しない。**落下・感電・火災の原因となります。

●**表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。**
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。

●**蓄電池を短絡、分解等しない。**
破裂・やけど・感電・火災の原因となります。

●**壁面取付専用器具です。点検スイッチが下になる方向に取り付ける。**
指定方向以外及び天井面取付できません。火災、ガラスパネル落下の原因となります。

⚠注意

●**この器具は一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。**
落下・感電・火災の原因となります。

●**外の風が直接当たる場所では使用しないでください。**落下・破損の原因となります。

●**周囲温度は、5～35℃で使用してください。**
指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池の劣化や火災及び非常点灯しない原因となります。

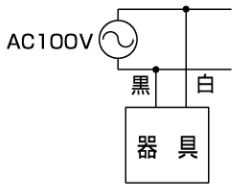
●**この器具の電源は専用回線にしてください。**

●**非常灯照明器具です。階段通路誘導灯（非常灯兼誘導灯）には適合しません。**

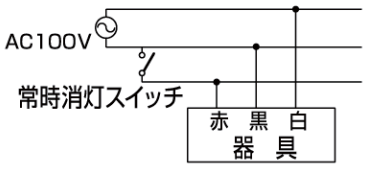
●**48時間充電後→非常点灯の確認をしてください。**充電しないと非常点灯しません。

配線種類

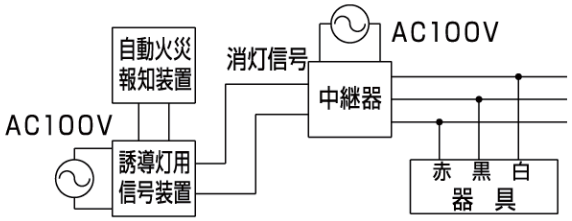
A. センサ制御なし・消灯なし
(2線式配線)の場合



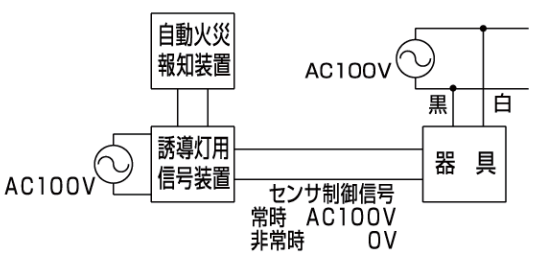
B. センサ制御なし・スイッチ消灯あり
(3線式配線) の場合



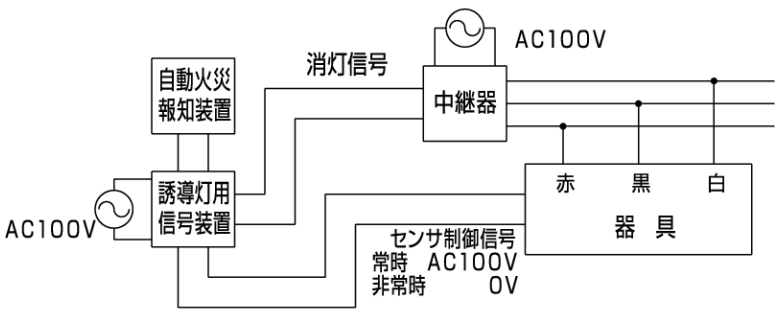
C. センサ制御なし・信号装置消灯あり
(3線式配線) の場合



D. センサ制御あり・消灯なし (2線式配線) の場合



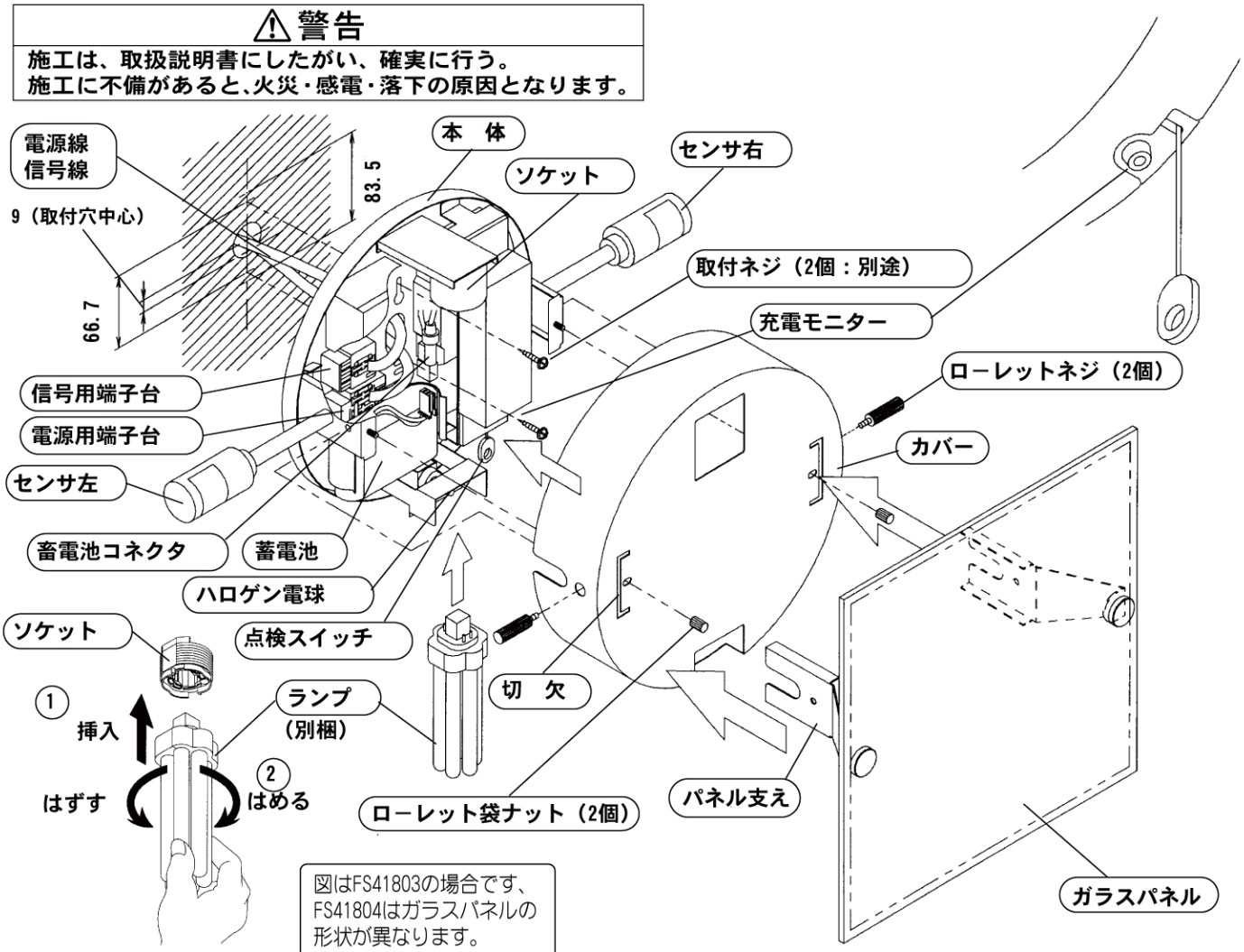
E. センサ制御あり・消灯あり (3線式配線) の場合



各部のなまえと取付けかた

⚠警告

施工は、取扱説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。



1. 取付前の確認

・器具質量（4.0kg）に十分耐える様、取付部の強度を確保する。
不備がありますと、器具落下の原因となります。

2. センサの調整

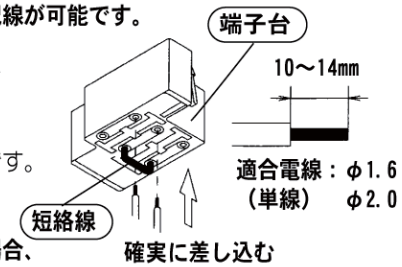
センサ部のなまえと調整方法
（3～5ページ参照）により調整を行う

3. 本体の取付

・ローレットネジ（2個）をはずし、ガラスパネルをはずす。
・ローレット袋ナット（2個）をはずす。
・電源線を本体の電源用穴から引き込む。
・取付ネジ（2個：別途）にて本体を確実に取付ける。
取付に不備がありますと、器具落下の原因となります。

4. 電源線、信号線の接続

・電源線、信号線を端子台に確実に差し込む。
・**この器具は、器具内送り配線が可能です。**
端子台の容量は、20Aです。
・常時消灯する場合短絡線を
外してください。
・常時消灯する場合は、
所轄消防署の承認が必要です。
接続が不完全な場合や
接続を間違った
場合や容量オーバーした場合、
火災の原因となります。



5. 蓄電池コネクタの接続

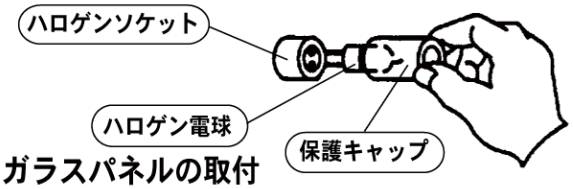
・蓄電池コネクタを確実に接続する。
接続が不完全な場合、非常点灯不良の原因となります。

6. カバーの取付

・ローレット袋ナット（2個）でカバーを確実に取付ける。
取付に不備がありますと、落下の原因となります。

7. ランプの取付

・ランプを取付ける。
・電源通電後、ハロゲン電球を確実に取付ける。
ハロゲン電球は素手で触らないでください。
（ハロゲン電球は保護キャップに入っています）
取付が不完全な場合、火災・落下の原因となります。



8. ガラスパネルの取付

・パネル支えをカバーの切欠に差し込み、サイドから
ローレットネジ（2個）にてガラスパネルを確実に取付ける。
取付時、ガラスパネルを手で支えてください。
取付に不備がありますと、落下の原因となります。

9. 充電状態と非常点灯の確認

・電源通電状態でランプ及び充電モニターが点灯するか確認する。
・48時間充電後点検スイッチを引っ張り、非常点灯するかを
確認する。
正常に動作しない場合は『故障かな？と思ったときは』
（8ページ）の項を参照してください。

10. センサの動作確認

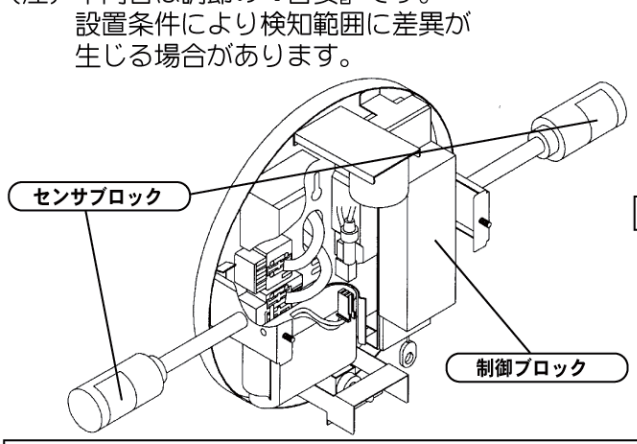
・実動作で正常動作（4ページ参照）するかを確認する。
正常に動作しない場合は『センサ検知の注意点』5ページの項を
参照してください。

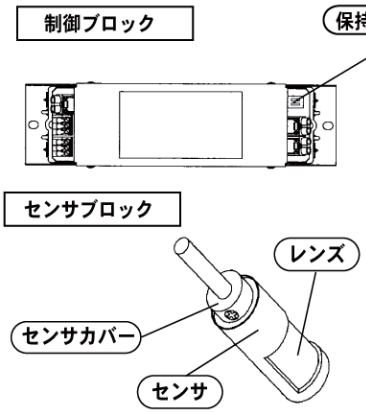
《センサの調整のしかた》（本体の取付前に調整を行ってください。）
（注）本内容は調整の『めやす』です。設置条件により検知範囲に差異が生じる場合があります。

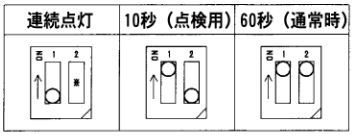
センサ部のなまえとセンサの調整方法

・点灯保持時間とセンサ角度の調整を行ってください。

（注）本内容は調節の『目安』です。
設置条件により検知範囲に差異が
生じる場合があります。







※スイッチ1がOFFの場合、スイッチ2の位置に関係なく連続点灯になります。

※センサの動作確認の際、スイッチを10秒に設定する事により、確認時間を短縮できます。（出荷時は60秒に設定されています）

調整のしかた（センサは2個ついていますので各々調整願います。）

1. センサカバーを開く。
- センサカバーの下の+ネジをドライバーでゆるめ、センサカバーを横へスライドさせる。

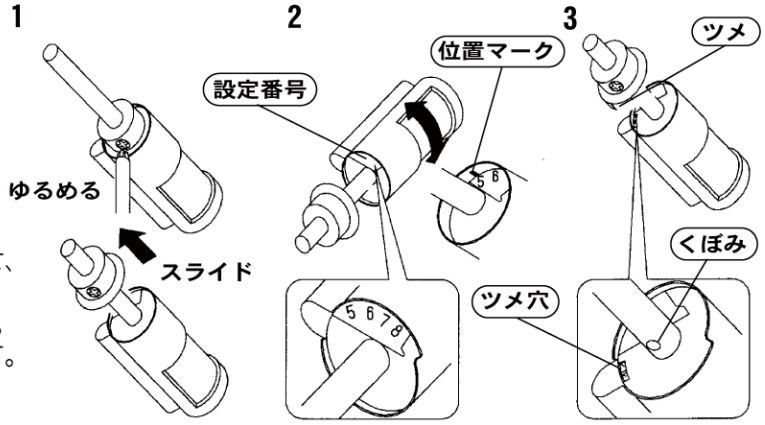
2. センサの検知方向を調整。
- センサの角度調整のしかた（4ページ参照）により調整を行ってください。
- 設定は位置マークを設定番号に合わせて設定してください。
センサの調整が不十分ですと、正常動作しませんので注意願います。

調整の際は、レンズを押さえずに操作して下さい。

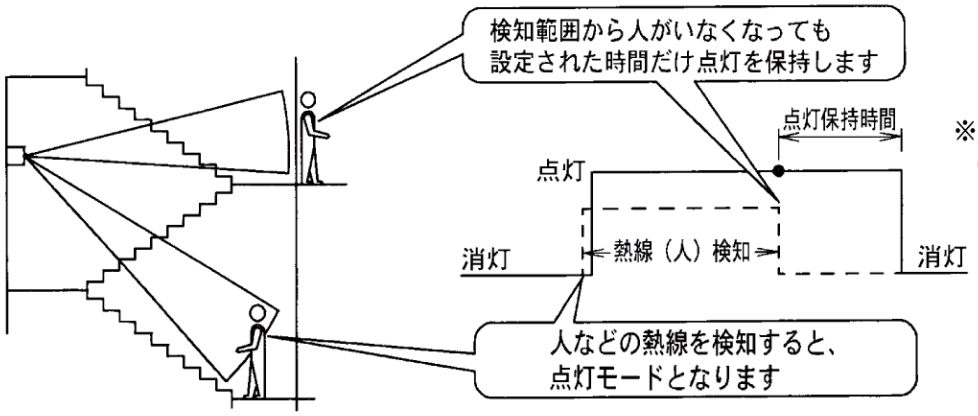
3. センサカバーを閉じる。
- センサカバーの+ネジとシャフトのくぼみ位置を合わせ、センサカバーを開いたのと反対の手順で閉じる。
- ツメがツメ穴に入り込むまでスライドさせてください。
- +ネジを強く締め込むとセンサがやや傾く事があります。検知能力に影響ありませんが、傾きが気になる場合、ネジをややゆるめて調整して下さい。

⚠注意

通常使用時は、点灯保持時間を必ず60秒に設定してください。
10秒に設定した場合、階段歩行中に消灯（減光）する原因となります。



センサ動作説明



※点灯保持時間は10秒または60秒に設定可能です。

・専用電源（AC100V）投入直後は、センサのウォームアップの為、約40秒間強制的に点灯後、センサーモードになります。
・センサ検知後、器具が点灯するまでに1～2秒程度かかることがあります。

センサの角度調整のしかた

・調整の準備ができましたら、上下階段に合わせて必ず調整を行ってください。
・階段室長さ寸法Ａ、床面から器具までの高さBから求めます。
・器具出荷時は、点検スイッチを右側に見てセンサ右を「No. 5」、センサ左を「No. 8」に設定しています。

〈上階の検知方向を設定する場合〉

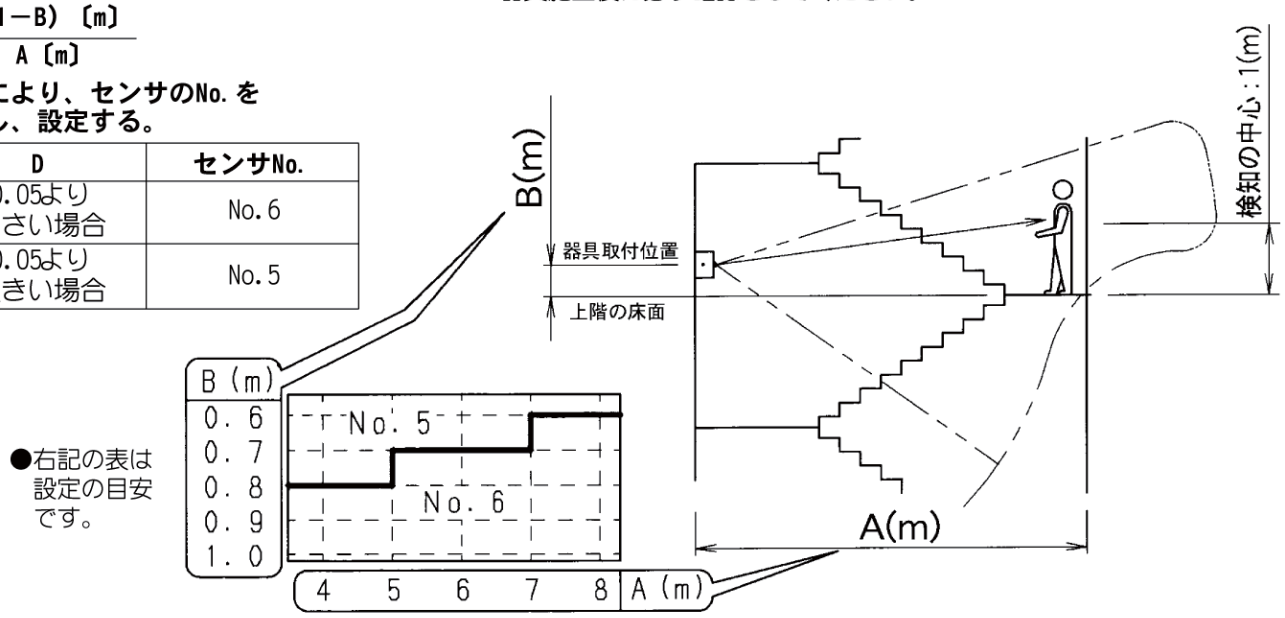
1） A、及びB寸法を確認する。
2） 次式により、Dを求める。

$$D=\frac{(1-B)\ 〔m〕}{A\ 〔m〕}$$

3） 次表により、センサのNo. を決定し、設定する。

D	センサNo.
0.05より小さい場合	No. 6
0.05より大きい場合	No. 5

（注）施工の条件によっては下記設定で検知しにくい場合もあります。
器具施工後に必ず確認をしてください。



●右記の表は設定の目安です。

〈下階の検知方向を設定する場合〉

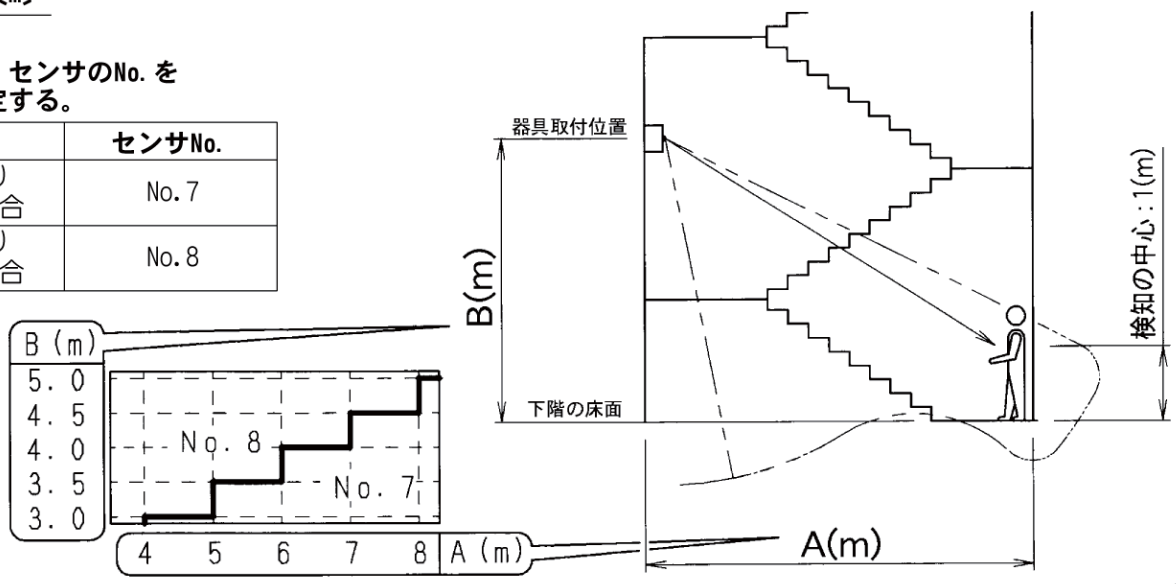
1） A、及びB寸法を確認する。
2） 次式により、Dを求める。

$$D=\frac{(B-1)\ 〔m〕}{A\ 〔m〕}$$

3） 次表により、センサのNo. を決定し、設定する。

D	センサNo.
0.45より小さい場合	No. 7
0.45より大きい場合	No. 8

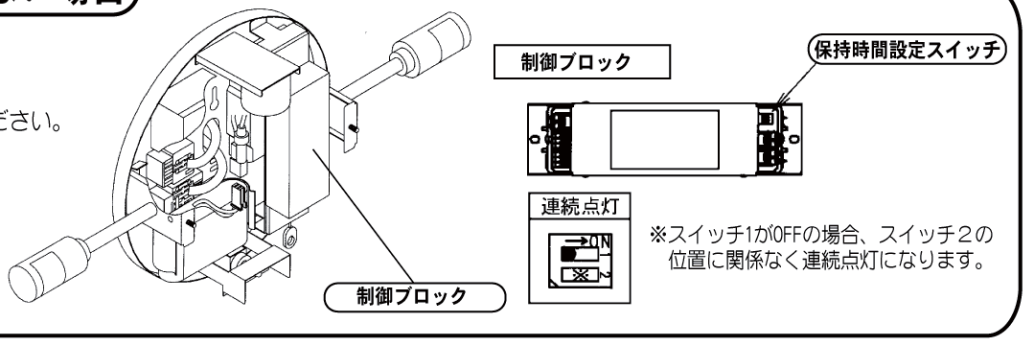
（注）施工の条件によっては下記設定で検知しにくい場合もあります。
器具施工後に必ず確認をしてください。



●右記の表は設定の目安です。

センサ機能を使用しない場合

・連続点灯させる場合に操作してください。
・制御ブロック上の保持時間設定スイッチを調整してください。

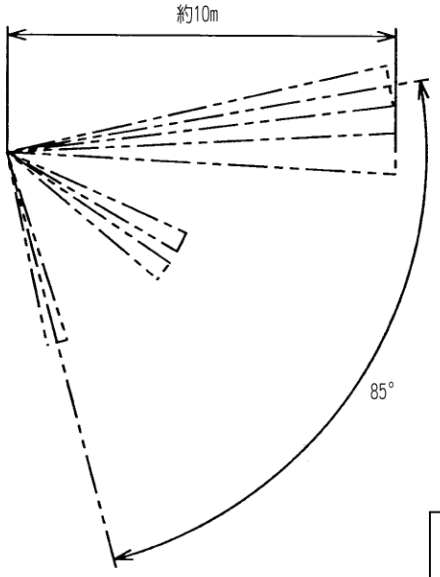


※スイッチ1がOFFの場合、スイッチ２の位置に関係なく連続点灯になります。

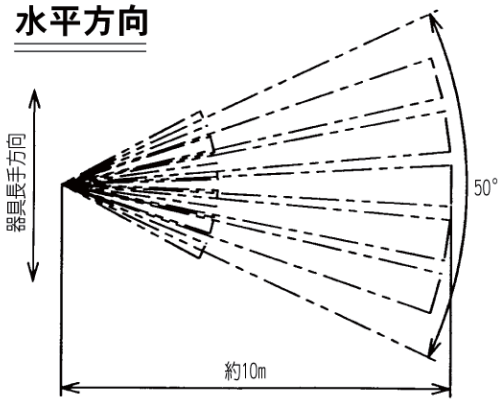
センサ検知の注意点

センサ検知範囲（周囲温度:20℃の場合）

垂直方向

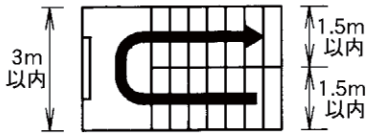


水平方向



上図の様に、センサによる検知範囲に入る人の『熱』と『動き』を検知します。
（検知する人と周囲の温度差:3℃以上、移動スピードは0.3～1m/sec.）
（検知範囲の端部は若干感度が鈍ります）

（注）・階段の幅は1.5m以内（踊り場の幅は3m以内）としてください。
ビームがまばらとなり、正常動作しない場合があります。
・周囲温度、人体温度などの条件により検知範囲に差異が生じる場合があります。
・センサは2個とも可動式ですので、上下階段に合わせて必ず調整をしてください。
調整が不十分な場合、正常動作しない原因となります。



（1）この器具（センサ）は熱線を検知するため、人体以外の温度変化でも検知する場合があります。
（例）・太陽光などの強い光の直接照射
・エアコンなどの気流
・検知エリア内の照明器具
・ブラインドやカーテンなどの動き
・人体以外の小動物の動き

（2）この器具(センサ)は温度変化を検知するため、夏場など周囲温度が人体とあまり変わらない場合には、検知範囲や感度が多少鈍くなる場合があります。

（3）この器具（センサ）は『動き』を検知するため、静止している場合や、動きの小さい場合は、検知しない場合があります。

（4）センサのビームを遮へいする障害物がある場合は、検知できません。

センサが正常動作しないときは

表にしたがってお調べいただき、処置を行ってください。

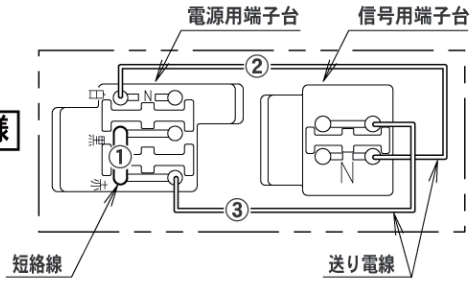
現　象	考えられる原因	処　置
●人がいなくなっても消灯しない	点灯保持時間が「連続点灯」になっている	点灯保持時間を設定してください（3ページ参照）
	検知範囲から人などがいなくなっても設定された時間だけ点灯状態を保持	動かずに約1分間待つ（点灯保持時間設定）
	信号端子の入力が0V	信号装置を接続する。または電源端子から信号端子へ送りをとる。（6ページ参照）
●点灯しない	センサの前に障害物がある	障害物を取りのぞく
	常時消灯スイッチがOFFになっている	スイッチをONにする（3線式配線の場合）
●正常動作しない	検知範囲に差異がある	正常動作です（上記 センサ検知の注意点 を参照下さい）

電源線・信号線の接続方法

・システム配線仕様に合わせて、A～Eのパターンより
適切な方法で結線願います。
誤結線されますと、火災・感電・破損の原因となります。
・電源電圧はAC100Vです。
電圧を間違えますと、火災・感電・破損の原因となります。
・出荷時は短絡線①および、送り電線②③が接続されています。

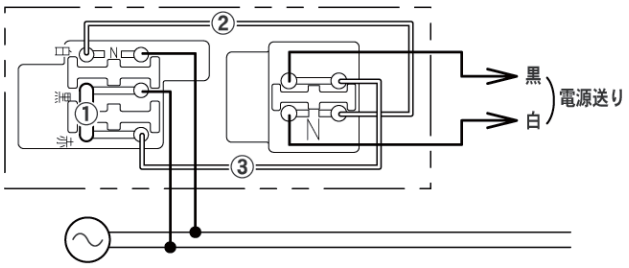
出荷時の器具仕様

（注）2点鎖線は器具内を示します。



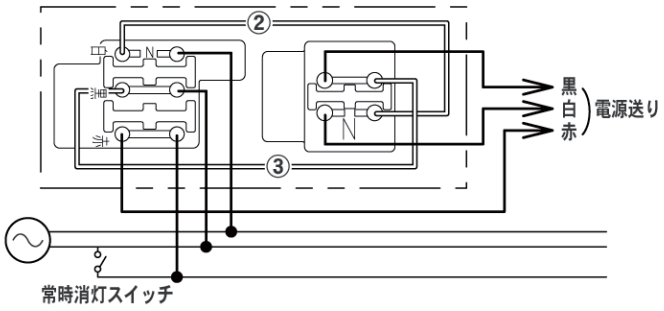
A. センサ制御なし・消灯なし（2線式配線）の場合

・①②③を接続したまま、下図の通り接続してください。
【②③を取り外すとセンサが動作しません。】



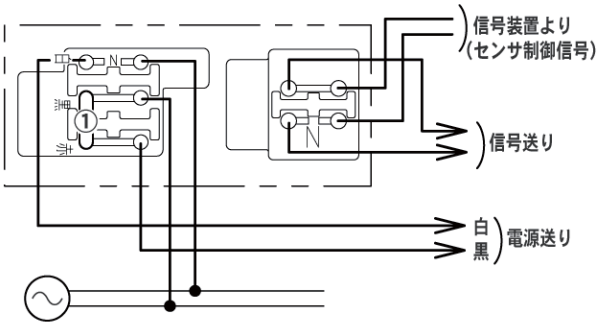
B. C. センサ制御なし・消灯あり（3線式配線）の場合

・短絡線①を取り外してください。
・送り電線③を下図の通り接続し直してください。
【②③を取り外すとセンサが動作しません。】
・信号装置による消灯の場合はスイッチではなく
中継器を用いた配線になります。



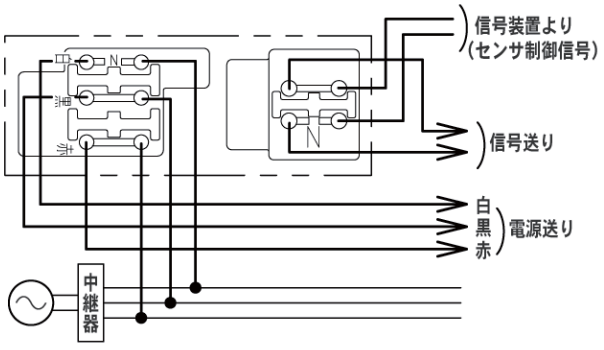
D. センサ制御あり・消灯なし（2線式配線）の場合

・送り電線②③を取り外してください。
・下図の通り接続してください。



E. センサ制御あり・消灯あり（3線式配線）の場合

・短絡線①、送り電線②③を取り外してください。
・下図の通り接続してください。



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
●万一煙が出たり、変な臭いがするなどの異常を感じた時は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。感電・火災の原因となります。
●アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。

⚠注意

●蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
●蓄電池は絶対に分解しないでください。やけど・感電の原因となります。電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
●蓄電池のショートは絶対にさけてください。破裂・やけど・感電・火災の原因となります。
●照明器具には、寿命があります（※1）　法令に基づいて定期的に点検を実施してください。
点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などにいたる場合があります。

※1　照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4～6年です。
使用条件は、周囲温度30℃、1日10時間点灯です。

使用上のご注意

・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳器等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。

保証について

●保証について…… この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。ランプ・電池等の消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
●保証書について…… 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
●補修用性能部品について… 弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・部品交換

●器具の清掃について……水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

●部品の交換について……本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。

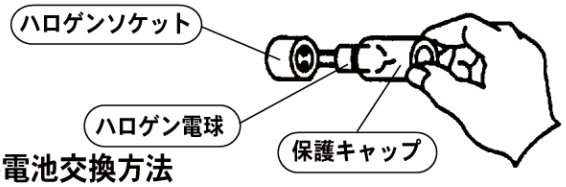
品　番	適合ランプ	ハロゲン電球	蓄電池
FS41803 FS41804	24形コンパクト形蛍光灯　FHT24EX-N（パナソニック製・OSRAM製） 32形コンパクト形蛍光灯　FHT32EX-N（パナソニック製・OSRAM製） 42形コンパクト形蛍光灯　FHT42EX-N（パナソニック製・OSRAM製）	JE4.8V13W	FK687 (4.8V　2500mAh)

ランプ交換方法

1）ローレットネジ（2個）を外し、ガラスパネルを取りはずす。
2）ランプを交換し、ガラスパネルを取付ける。
取付が不完全な場合、火災・落下の原因となります。

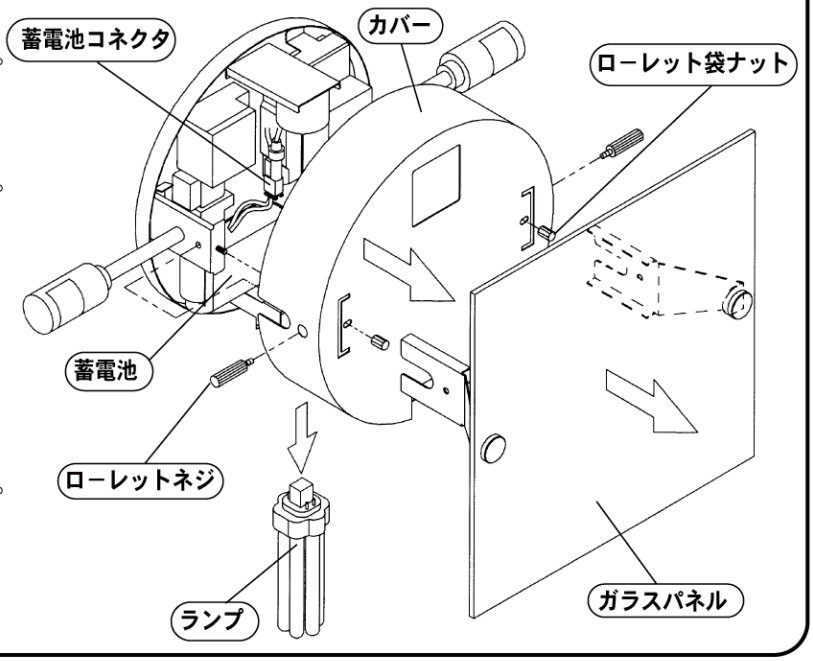
ハロゲン電球交換方法

1）ローレットネジ（2個）を外し、ガラスパネルを取りはずす。
2）ハロゲン電球を交換し、ガラスパネルを取付ける。
ハロゲン電球は素手で触らないでください。
取付が不完全な場合、火災・落下の原因となります。



蓄電池交換方法

1）ローレットネジ（2個）を外し、ガラスパネルを取りはずす。
2）ローレット袋ナット（2個）を外し、カバーを取りはずす。
3）蓄電池コネクタを外し、蓄電池を交換する。
接続が不完全な場合、非常点灯不良の原因となります。
4）逆の手順にて、カバー及びガラスパネルを取付ける。
取付が不完全な場合、火災・落下の原因となります。



◆定期点検　・3ヶ月に1回は、破損、変形などの外観の点検をお薦めします。
・6ヶ月に1回は、外観点検と機能点検を併せて行ってください。
（点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。）

○設置年月日　年　月　日　　○取付場所　　○器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

システム動作説明

システム状態 ＼ 配線方法		A. センサ制御なし 消灯なし (2線式配線) の場合	B. センサ制御なし スイッチ消灯あり (3線式配線) の場合	C. センサ制御なし 信号装置消灯あり (3線式配線) の場合	D. センサ制御あり 消灯なし (2線式配線) の場合	E. センサ制御あり 消灯あり (3線式配線) の場合
常　時（蛍光ランプ）	無人時	消灯				
	有人時（センサ検知）	100％で点灯				
	消灯信号入			消灯		消灯
	スイッチ「開」		消灯			
非常時（蛍光ランプ）（火災信号受信）	無人時	消灯			100％で点灯	
	有人時（センサ検知）	100％で点灯				
	スイッチ「開」		消灯			
非常時（ハロゲン電球）（停電時）		280ｌｍで点灯				

故障かな？と思ったときは

表にしたがってお調べいただき、なお異常のある場合は、すぐ電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

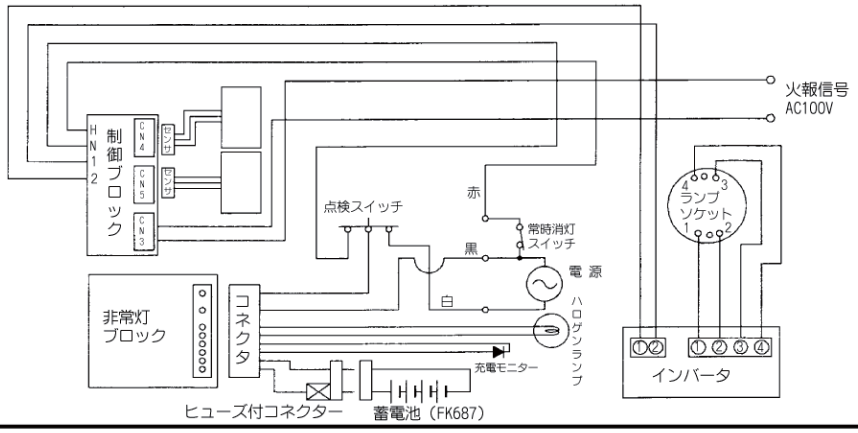
現　象	考えられる原因	処　置
●常時、ランプが点灯しない	ランプの寿命	ランプ交換する
	消灯スイッチにより電源が遮断されている	電源を通電する
●非常点灯しない	蓄電池コネクタはずれ	蓄電池コネクタを接続する
●短時間しか点灯しない（30分未満）	蓄電池の充電不足（保管時の自然放電や、施工時の放電など）	48時間以上充電する
	蓄電池の寿命	蓄電池交換する
●充電モニターが点灯しない	蓄電池コネクタはずれ	蓄電池コネクタを接続する
	ハロゲン電球が切れている	ハロゲン電球を交換する

器具定格・接続図

●定格

品番	摘要	起動方法	ランプ	定格電圧	入力電流	入力電力	非常時光束
FS41803 FS41804	常　時	半導体式	FHT24EX-N	AC100V	0.33A	31W	――
			FHT32EX-N	AC100V	0.40A	38W	――
			FHT42EX-N	AC100V	0.53A	51W	――
	非常時	――	JE4.8V13W	密閉形Ni-Cd蓄電池　FK687（4.8V2500mAh）			280lm

●接続図



Ni-Cd　この器具には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
ニカド電池の交換、およびご使用済製品の廃棄に際してはニカド電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。

パナソニック株式会社　ライティング機器ビジネスユニット　〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120-878-365（フリーダイヤル）　0120-878-236（FAX）
KE0204-091113